

若き才能を 広島から世界へ

～坊田 惣祐さん ヘレン・ケラー賞 受賞に寄せて～



向井 真帆 (チェロ)

上垣内 寿光 (ギター)

ゲスト: 坊田 惣祐 (ギター)

★禁じられた遊び (映画音楽)
★ラグリマ (F.タレガ)
★紫陽花 (いちむじん)
ほか・・・

曲目は予告なく
変更する場合があります

日時 2023年 **9月30日 (土)**

開演15:00
(開場14:30)

会場 はつかいち文化ホール ウッドワンさくらぴあ 小ホール

全席指定 (税込) 一般 1,500円 18歳以下 500円

※さくらぴあ倶楽部会員 200円引き (ウッドワンさくらぴあ事務室のみの取扱い)。

※ポイント対象外。ウッドワンさくらぴあオンラインチケットでのお取扱いはありません。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット発売日 さくらぴあ倶楽部会員 7月8日(土) 一般 7月15日(土)

プレイガイド ウッドワンさくらぴあ事務室 ☎0829-20-0111

お問合せ (9:00~21:00 休館日/月曜日*祝日の場合は翌平日)

主催: 廿日市市文化協会 共催: (公財)廿日市市芸術文化振興事業団

後援: 廿日市市教育委員会、廿日市市老人クラブ連合会、廿日市市PTA連合会、廿日市市社会福祉協議会、廿日市商工会議所、(一社)はつかいち観光協会、FMはつかいち76.1MHz、廿日市市女性連合会、(一社)日本マンドリン連盟中国支部、エリザベト音楽大学、広島ギター協会



上垣内寿光(ギター)

エリザベト音楽大学を飛び級し大学院修了。その後、広島中村奖学金を得て渡独。ドイツ国立カールスルーエ音楽大学卒業ディプロマ取得。ドイツ国立ワイマール・リスト音楽院、演奏家課程修了。名古屋ギターコンクール優勝、日本ギターコンクール第3位、九州ギターコンクール最高位、大阪ギター音楽大賞第2位、イタリア・ガルニャーノ国際ギターコンクールファイナリスト、2007年度、第22回イタリア・ロベレドーロ国際音楽コンクールギター部門第2位

(1位なし)など国内外のコンクールに入賞。第149回日本演奏連盟新人演奏会にて広島交響楽団と共に演奏。

日本をはじめドイツ、イタリア、スイスなどヨーロッパのみならず韓国、中国、インド、タイなどアジアでもリサイタル、ワークショップを展開する。

また、作曲活動も精力的に行い、テレビ新広島「広島百景」の音楽プロデューサー、テレビ新広島特別番組「原爆ドーム～その名に遺されたもの～」の作曲を手がける。

現在エリザベト音楽大学で教鞭をとる。



向井真帆(チェロ)

広島県廿日市市出身。12歳よりチェロを始める。愛知県立芸術大学音楽学部を卒業。同大学大学院博士前期課程修了。在学中ドイツのケルン音楽大学へ留学。第11回ベーテン音楽コンクール全国大会第1位。第22回さくらぴあ新人コンクール廿日市市教育長賞受賞。「アフィニス・セミナー&音乐会2021 Nagaoka」にイーゲルクインテットとしてオーディションに合格し、受講、修了演奏会に出演。これまでにチェロをマーティン・スタンツェ

ライト、花崎薰、H.C.シュヴァイカーの各氏に、室内樂を花崎薰、天野武子、百武由紀、C.ベルディの各氏に師事。

現在広島を拠点にソロ、アンサンブル、オーケストラの客演など幅広く演奏活動を行っている。

エリザベト音楽大学非常勤副手。あきクラシック実行委員会委員。

本年1月より、FMはつかいち「さくらぴあスマイルトーク」パーソナリティを務めている。

第72回ヘレン・ケラー記念音楽コンクール（東京ヘレン・ケラー協会主催、参天製薬株式会社 名古屋宗次ホール協賛、トップパンホール会場協力、毎日新聞社など後援）が2022年11月19日(土)、東京都文京区のトップパンホールで開催されました。

全国から34人が参加。器楽7部門、声楽2部門の9部門（重唱・合唱の部はコロナ禍で中止）で日ごろの練習の成果を披露しました。

最も感銘を与えた演奏に贈るヘレン・ケラー賞は、弦楽器の部で1位を受賞した坊田惣祐さんが受賞。坊田さんには、記念としてクリスタルトロフィーと賞状が贈られました。



坊田惣祐(ギター)

広島県立広島中央特別支援学校中学部1年生。
第72回ヘレン・ケラー記念音楽コンクール
器楽部門弦楽器の部第一位。
【ヘレン・ケラー賞】受賞。
クラシックギターを上垣内寿光氏に師事。

ヘレン・ケラー記念音楽コンクール

ヘレン・ケラー記念音楽コンクールは、1949年（昭和24年）12月13日、全国盲学生音楽コンクールとして、東京・有楽町の毎日ホールで始まりました。当初は東日本及び西日本ヘレン・ケラー財団を統括する日本ヘレン・ケラー協会などが主催し、盲学校音楽教育の実態を知ってもらい、音楽家を志す盲学生の登竜門にするのが目的でした。

第6回（1954年）から東京ヘレン・ケラー協会の単独主催となり、「全日本盲学生音楽コンクール」と改称、第51回（2001年）から普通校で学ぶ弱視児まで参加枠を拡大し、現在の「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」と名称を改めました。

この間、第6回に小学4年でデビューしたバイオリンの和波たかよし（わなみ・たかよし）さん、第17回に同じ小学4年で絶賛されたチェンバロなど鍵盤楽器演奏家の武久源造（たけひさ・げんぞう）さん、2009年のバン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝した辻井伸行（つじい・のぶゆき）さんら、国際的に活躍する音楽家を輩出しています。また、このコンクールで得た自信を、その後の道に生かして 音楽とは別な分野で優れた業績を挙げた人も少なくありません。